

警備部
業務課係長

山岸 里江



ダイバーシティを尊重し、 持続可能な成長を実現

高度なサポートで安心と快適をお届け

警備部の業務内容を教えてください。

警備部は、施設警備と美術館運営・管理を中心に幅広い業務を展開しています。施設警備では、大学、ホテル、美術館など12の施設の安全確保に務めており、美術館運営管理では、国立美術館3館をはじめとする9館の運営を支えています。

警備と施設運営・管理という一見異なる分野の強みを融合させ、質の高いサービスを提供するとともに、スタッフの教育や業務改善にも積極的に取り組んでいます。

人材・環境・教育を軸にSDGsを推進

警備部の業務はSDGsのどの目標に貢献していますか？

警備部では、「多様な人材の活躍推進」「働きやすい環境づくり」「教育の充実と人材育成」のおもに3つの分野で、SDGsに貢献しています。

「多様な人材の活躍推進」について、どのような取り組みをしているのか教えてください。

警備部では、年齢や性別、出身（生まれ）などにかかわらず、高齢者も女性も外国人スタッフもいきいきと活躍しています。施設警備では、警備の専門知識を身につけた高齢者が、豊富な社会経験を活かし業務の質を向上させています。美術館運営では、多くの女性が責任者やスタッフとして活躍しています。また、外国人スタッフが多言語対応を担うことで、海外からの来館者にも質の高いサービスを提供しています。警備部の業務をSDGsの目標に照らし合わせると、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」と目標10「人や国の不平等をなくそう」に該当します。今後もSDGsの各目標を念頭において、多様な人材が活躍できる環境を整え、ダイバーシティに富んだ組織づくりを目指します。

「働きやすい環境づくり」については、どのような取り組みをしていますか？

高齢者や女性が活躍する職場では、働きやすい環境の整備が不可欠です。そのため警備部では、働きやすさを追求し、多岐にわたる取り組みを実施しています。具体的には、育児休暇や時短勤務などの制度を充実させ、ライフステージに応じた柔軟な働き方を推進し、すべてのスタッフが安心して働ける環境を整備しています。また、夏場の熱中症対策としてクールベストを導入し、身体的負担の軽減を図るなど、可能な限り働く環境にも配慮しています。こうした取り組みは、さまざまな背景をもつ人材が、当部門でやりがいをもって働くきっかけになっていると感じます。SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」を意識して、これからもスタッフ一人ひとりが自分らしく働ける環境づくりを進めていきます。

「教育の充実と人材育成」についても教えてください。

警備部では2023年度から新卒採用を開始し、次世代の人材育成に力を入れています。若手の成長を促す一方、若い世代の力と新しい視点を取り入れることで、部内の活性化にもつながっています。また、中堅社員や役職者を対象に、定期的な社内研修を実施しています。従業員同士の交流や情報交換を通じてスキルアップを図ることを目的としており、多くの従業員にとって知見を深める貴重な機会となっています。なお、これらの取り組みは、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に該当します。

持続可能な成長と社会貢献を目指す

今後の展望や目標について教えてください。

警備部の業務は、人と人との関わりのおかげで成り立っています。今後も多様な人材とともに成長し、より質の高いサービスを提供できるよう努めます。ダイバーシティを尊重し、全員が活躍できる環境を整え、持続可能な成長と社会貢献を目指して邁進します。